

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき()		
所在地	北海道旭川市3条21丁目1973-10		
自己評価作成日	平成24年11月30日	評価結果市町村受理日	平成25年1月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の支援・四季折々に外出し、気分転換、体力の保持、五感刺激の為に一年を通して実施している。(冬まつり見物・河川敷きに野鳥観察・お花見・花壇公園の散策・上川神社祭の縁日・3条15丁目七夕飾り見物・美瑛の丘見物・大正琴コンサート・紅葉狩り・寿司外食)
施設内行事・ストレス解消し、日々楽しく生活ができる様に一年を通して実施している。(誕生会・節分の豆まき・節句の祝い・七夕飾り・夏祭り盆踊り・敬老会・クリスマス会・他にボランティアによる演奏会、紙芝居など)

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成24年12月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<日常的な外出支援>
一人ひとりのその日の希望に沿って、近隣散歩やスーパーでの買い物など戸外に出かけられるように支援している。また、回転すしやラーメン等の外食やスキ取りドライブ、美瑛のざるぶの丘へ秋の遠足や大正琴コンサート鑑賞に出かけたり、秩父別のローズガーデンや毒狩り等普段では行けないような場所へも積極的に出かけられるように支援している。
<サービスの向上に向けた取り組み>
成年後見制度や認知症についての更なる理解の為等外部研修に参加していると共に職員の資格取得への奨励や接遇などの内部研修を実施し、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、職員のやりがいや向上心がもてるよう勤務年数による有給休暇の取得や職員互助会の結成など職場環境の整備に努めている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)		項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員が理念を理解し常に確認、意識しながら実践しケアに反映されている	事業所独自の理念をつくりあげ、毎日のミーティングで話し合い、その理念を共有して実践につなげている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事など積極的に参加、事業所の行事を案内し、地域住民との交流を深めている	町内会に加入し、地域の一員として公民館で開催されている「地域ふれあいサロン」にも積極的に参加し、地域との交流・連携に努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の研修、会合等に関わり積み重ねてきた実践経験を生かして地域住民からの相談を受けている		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では報告と共に参加者からの意見、質問、助言を受けてサービス向上に活かしている	運営推進会議は、年6回を目安に開催し、緊急時の避難・誘導や利用状況など具体的な内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターとの情報交換を共有し、積極的に連携を図ろうとしている	市担当者とは、日常業務を通じて情報交換を行い、協力関係を築くよう取り組んでいる。また、市や包括支援センターの研修会には積極的に参加している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束が必要な場合には、家族等の理解と納得の上、事業所の工夫や取り組みを示し、報告のうえ実施するよう職員間に周知している	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を外部・内部研修を通じて正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士で日常生活において入居者に対する不適切なケアを行わない様認識している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について学ぶ機会もあり必要と思われる相談があればアドバイスをし支援している		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時においては丁寧に説明をし、重度化による医療体制の実際など退去後の支援も行う		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には訪問時等に常に問いかけ、意見を気軽に言ってもらえる様な雰囲気をつくり配慮している	家族等の来訪は多く、来訪時に意見や苦情等を言い表せるようにコミュニケーションの機会を設けている。また、意見箱の設置や苦情申し出先を掲示している。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング他、日頃から意見、要望を聞き入れ、職員が提案を出し易い環境づくりに努めている	職員の意見や要望等を「伝言ノート」に書き込み、日頃の業務の中での話し合う機会を設け、運営に反映できるように努めている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に向けた支援を行い、本人の意向を重視しながら責任ある立場を考慮している		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報を収集し、職員が交代で受講し、職員会議で発表、報告書を職員が閲覧できるようにしている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内GHへの見学、研修会などに参加できる機会を作り、交流を持ち意見交換などをしてサービスの質の向上に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の不安、要望を傾聴し信頼関係を築ける様に努めている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いや、ご苦勞を理解し今後の要望等を傾聴し信頼関係を築ける様心がける		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の思い状況を見極め必要なサービスにつなげていく様努めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いを共感し、共に支え合い穏やかに暮らせる様努めている		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日頃の状態を報告、相談し情報共有に努め支え合う関係を築いている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人などの馴染みの人達との関係を続けていける様、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた友人、知人の訪問やスーパーでの買い物やお祭り見物等で馴染みの場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関わりを見守り、関係が円滑になる様、見守り支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族に行事の案内などをし、来訪されたり連絡があったりと関係性を大切にしている			
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で職員同士が連携をとりながら、その人の思いや希望を叶える事が出来る様に努めている	本人の思いや意向、家族からの要望等を確認し、職員間で情報の共有を行い、本人本位に検討している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族に以前の生活、暮らし方を聞き、より良く暮らせるように把握し支援している			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人、ひとりの生活のリズムを見極めて行動や体調の変化などを把握するように努めている			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の訪問時には日々の生活の様子をご報告し、現状と課題に即した話し合いを行う様に努めている	本人や家族の意向や要望等を話し合いながら、介護計画に反映するよう努め、カンファレンス、モニタリングを通じて職員の意見を反映し、現状に即した介護計画を作成している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中の様子や変化を個別のケース記録に記載して、ミーティング等の職員間で情報を交換しながら実践しています			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族に対応して、様々な支援やサービスを出来るように努めています			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域サービス(ふれ合い)や避難訓練などを通じ地域資源を積極的に活用している			
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と本人の希望にそってかかりつけ医を決定し、定期受診を通じて積極的に情報交換をしている	通院への支援や協力医療機関との連携で適切な医療が受けられるよう支援している。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期受診の際に出来る限り情報を共有し、緊急時にも速やかに対応できるよう備えている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日常から信頼関係を築き、入・退院時もスムーズな対応が出来るように努めているように実施している		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人はもとより、家族・医師とも連携し、本グループホームでできる最大の支援を早い段階で説明出来るよう努力している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当の講座に積極的に参加し、全ての職員が行えるように努力している		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制度を築いている	定期的に訓練を行い安全に誘導出来る様にしている	町内会や地域住民にも参加を呼びかけて秋に夜間を想定した避難訓練を2回実施し、春にも昼間を想定した避難訓練を実施して、地域の協力が得られるように取り組んでいる。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	それぞれが心がけているが突発的な出来事等の時は対応しきれない時もある	接遇に関する内部研修を実施して、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけがないよう努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	それぞれの個性を把握し、本人が答えやすいように心がけている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人が持っている生活のペースやその日の体調を考えながら支援している 入居者間のトラブル防止に努めている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の汚れ等は着脱時にさりげなく交換するよう心がけ、カット等は訪問美容師さんに来ていただき、本人の希望に合った髪型が出るよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	料理の下準備や、漬物作り、食後の片付け等手伝っていただける事は一緒に行うようにしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に楽しんで、野菜の皮むきや食器洗い、調理前の手作業の分担や自前の手造りおやつ作りなど行っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要ならば、きざみ食、ミキサー食等で摂取しやすくし、水分不足にならないように表を作成し入居者さんの状態を把握している		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の義歯洗浄、口腔ケアを声掛けや見守り、必要あれば介助し常に清潔でいられるよう支援している		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄時の見守りを出来る限り行えるように現状を把握し、個人の排泄パターンを保てる様に自立支援を行っている	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄チェック表で把握し、トイレでの排泄や自立に向けた支援をしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態に合わせて繊維質や乳製品等の食品の取入れ、体操や運動を行える様に積極的に声掛けをしています		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の湯の温度も適温を心がけ、その日の体調、希望、個々にあつて支援を行っています	入浴日を設定しているが、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴が楽しめるように支援している。また、拒否の強い本人にも対応した支援をしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、生活リズムを整える様に努めていて又、夜間の不眠支援に対しては会話をしたり、水分を摂取等、取り組んでいる		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内服確認、管理、服薬時は本人に手渡し服用の確認をする		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を発揮してもらえよう仕事を頼み、感謝の言葉を伝える 食事作りや畑仕事、漬物漬けなど知恵を発揮する場面を作っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	歩行困難なケースでも車や車椅子等を利用し買い物、ドライブ、公園に出かけるよう積極的にこなされていて家族との旅行なども支援している	一人ひとりのその日の希望に沿って、近隣散歩やスーパーでの買い物、回転すしやラーメン等の外食や美瑛のぜるぶの丘へ秋の遠足、大正琴コンサート鑑賞に出かけたり、秩父別のローズガーデンや莓狩り等普段では行けないような場所へも積極的に出かけられるように支援している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スーパーでの買い物は事業所の預かり金からご本人が手持ちをして支払いをするなど楽しみ、感じて頂いている		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人などに電話しやすい雰囲気づくりや職員からの声掛けを行うとともに会話が他の利用者に聞こえないよう電話の設置場所を工夫している		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の楽しみであるテレビは皆さんが見やすいよう又、ニュース等の話題を共有し和めるような雰囲気づくりをしている	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮している。また、季節毎の行事参加の写真の掲示などで居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外が見える所に2つ椅子を置いてある所等に毎日の様に座り話をし、ご近所の向かいのおばあちゃんとも顔合わせをしています		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	あまり一人ひとりのの部屋の内容は解らないがドア越しに見える室内は家具が以前住み慣れていた気持ちの落ちつける感じがする	本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、仏壇や家族の写真等が持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事はやっていただき食事の後片づけ、漬物の下準備、もやしの芽取り、昆布を切っただけの調理や何か出来ることはしたいとの意は伝わってきます		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき()		
所在地	北海道旭川市3条21丁目1973-10		
自己評価作成日	平成24年11月30日	評価結果市町村受理日	平成25年1月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出の支援・四季折々に外出し、気分転換、体力の保持、五感刺激の為に一年を通して実施している。(冬まつり見物・河川敷きに野鳥観察・お花見・花壇公園の散歩・上川神社祭の縁日・3条15丁目七夕飾り見物・美瑛の丘見物・大正琴コンサート・紅葉狩り・寿司外食)
施設内行事・ストレス解消し、日々楽しく生活ができる様に一年を通して実施している。(誕生会・節分の豆まき・節句の祝い・七夕飾り・夏祭り盆踊り・敬老会・クリスマス会・他にボランティアによる演奏会、紙芝居など)

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成24年12月19日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--	--	--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)				項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目		取り組みの成果 該当するものに 印		項目		取り組みの成果 該当するものに 印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日のミーティングを通じて話し合い、意識を持ちながら実践している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会や包括支援センターとの連携をもち、避難訓練や行事に参加して頂き、地域住民との交流を深めている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	公民館主催の認知症の講演に参加したり、来所して頂いた時に運営方針を話して、認知症の理解をして頂いている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の開催で、事業所の取り組みを含め、避難訓練などの参加で意見を聴き、緊急時には、地域住民の方に協力を求められる様になっている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市や包括支援センター主催の研修会にも参加して、情報の交換をして取り組みを伝えて協力体制を築く様になっている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠の時間帯はあるがご家族にも予測されるリスクを話し合い、納得の上で事業所の取り組み方針を示している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者に対する会話、態度の虐待は、研修会にも参加してその後の内部研修などで、従業員は認識している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度の研修会に参加して、必要との相談があれば指導を受け、関係者との繋がりももっていて支援していく用意がある。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、利用料、起こり得るリスク、重度化の対応、医療体制を説明している。ご家族の不安を取り除ける様に職員の体制も理解・納得を図っている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族にはアンケートや来所時には密に要望などを聴き、苦情などはその後のミーティングで報告、話し合いをおこない、速やかに改善をし、結果をお伝えしている。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	利用者への意見、不安などは、そのつど話し合いをもち、全員で提案をしながら、職員の気付きやアイデアを取れ入れている。情報が共有できる様に、職員同士の伝言ノートも書き込んでいる。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得には支援を行う。職員の疲労やストレスには、勤務表の配慮をしたり、人間関係を把握する様に努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、パート職員も全員が交代順に参加をして、終了後には報告書で全職員に関連して共有している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの行事に入居者共に参加をし、交流を強化している。グループホームケア研究会に加入をし、意見交換などで質の向上を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の現在の想いに耳を傾け、受け止めて理解する事に努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の求めているものを良く聴き、話し合いをする事によりより良い信頼関係を築ける様に努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の意向を良く確認し、必要に応じて社会資源の参加(公民館のふれあいサロン)をすすめている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に過ごし、食後の片づけなどを一緒に行い、出来る事はして頂き見守っている。ご本人の想いを共感、理解をする様に努めている。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の生活の様子を常にお伝えし、職員の想いとご家族の想いが更に近づき、より良い関係を築いていける様に努めている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人との関わりを把握して、来所や電話によって今までの関わりを繋いでいける様に心がけている。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、入居者同士の関係性を情報連携し、気分や心身の状態で日々変化をすることもあるので、状況判断をして、円滑に過ごせる様に見守りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院入院で退所後には、会いに行ったり、ご家族には行事に参加して頂き、信頼関係や継続的なフォローを行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、その方の意向や希望を叶えられる様に、職員同士で情報の共有を行っている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族に今までの暮らし方などを聴き把握して、生活環境が変わっても以前の安らぎと心地よく生活が出来る様に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムの違いを見極めて、その方に合わせた過ごし方を把握している。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の来所時には、日々の生活の様子や現状と課題に即した話し合いを行う。職員による意見交換やモニタリングを行い、介護計画を作成している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々にケース記録をとり、食事、バイタルサイン、排泄は元よりご本人の感情や言葉も記録して、職員間で情報を共有しながら、介護計画に反映させている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が食事ま近い時間に来所された時など、一緒に食事の提供したり、通院の介助や外出の送迎も柔軟にサービスをしている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館活動の「ふれあいサロン」に4名が参加して他者との関わりを感じて楽しめている。訪問理・美容サービスを利用している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族、ご本人が以前からのかかりつけ医に受診を希望される方はそのまま継続している。基本的には、全面的に対応を行っているが不可能な時には、ご家族の対応をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師の在中は無く、外来受診で対応をしている。体調の変化や些細な表情の変化を見逃さない様、早期発見に取り組み、常に報告をし適切な医療に繋げている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、2～3日に一回は面会をし、医師の回診時や看護師に状態を訪ねて、退院後に備えた対処方法などを密に相談を行っている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行ってない為、医療行為が必要となり介護の範囲を超える時には、ご家族と十分に話し合い、医療機関の関係者と共に今後の方針を支援している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	半数以上の職員が、救急法基礎講習などを受講している。緊急時マニュアルを特に夜間帯の連絡方法を速やかに対応できる様に決めた場所に置いている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	春に昼間の想定で1回の避難訓練と、秋に夜間想定で2回の避難訓練を行った。全職員が関わると共に、町内会や地域住民の参加を募り、地域との協力体制を築いている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	敬意をもっていいない態度で言葉かけをする様に心がけている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買物の要望なども、個々に合わせて対応をしている。自由に意思表示、自己決定が出来るように声かけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションを合同で行う時や入浴の日など、個々の考えと異なった過ごし方になる事もあるが、個々のペースに合わせて職員と1対1での外出もおこなっている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え時にはご本人の好みで選んでおり自己決定の困難な方には、一緒に決めている。行事などはおしゃれもして楽しめる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下準備や食後の食器洗いから片づけまでを職員と一緒にしている。嫌いな物は違う献立に取り換えて提供し、入居者と一緒に畑から採ってきた野菜をその日に調理して食している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分、食事摂取量を記録し、食事の時間も体調によって変動しているので、一人ひとりの状態を見極めて嗜好品などの補給をしている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯洗浄を声かけし、出来ない方には、介助し口腔状態を把握している。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	チェック表で一人ひとりの排便状態を把握し、生活のリズムに沿った支援をしている。尿意の薄い方には、誘導を行い、トイレでの排尿を心がけている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録で状態に合わせた便秘対策をおこなっている。運動や水分量や乳製品を摂る様にしている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日の体調、希望を配慮し一人ひとりに合わせた入浴支援を心がけている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動内容を考慮し、生活のリズムを整える様に努めている。不眠の方には、温かい飲み物や会話をもち、心落ち着く様に支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内要を把握し、服用時には手渡しをし飲み終えるまでの確認をおこなっている。症状の変化には医師へ情報提供をしながら服薬調整を図っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の分野で力を発揮できるように、朝のおしぼりたたみ、もやしの芽取、畑仕事や畑片づけ、食後の食器洗いなどの出来る事への役割などに配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候と体調に合わせて、季節の味や花を觀賞(桜、ラベンダー、バラ園他)する様にドライブをしながらその地で美味しい物を味わって積極的に外出している。ご家族で温泉に一泊する方には、外出時の支援を行う。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は預かりしているお金から、買物外出にはご自分で支払をする様にしている。病院受診で外出した際に希望に沿って売店で嗜好品を買い求める方もいる。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	居室に電話設置している方や携帯電話の方は自由にかけたりして話をされている。希望があれば友人やご家族に事務所から電話を繋いでいる。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に生け花をしたり、廊下やフロアーにも季節感を採り入れて暮らしの場を整えている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアーの椅子で並んで穏やかに過ごす方や廊下の椅子にまとまって座って時間を過ごす方など、居室から出でつづげる居場所の工夫をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご自分が以前使用していた家具の配置、布団を使用している。個々の希望で、部屋のポットでお湯を沸かしてお茶を飲んでつづげる様にしている。仏壇の有る方には、切り花などを供えている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内で2階から1階に階段でありて一周して歩行運動をされる方や外気浴などもされる方には、誘って他者も加わりできるだけ自立した生活が出来る様に体力減退のない様に配慮している。		

目標達成計画

作成日：平成24年12月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	29	月1回の地域資源に参加している方が、現在5名なので、もっと多くの方が参加して違った環境を感じて頂きたい。	経費が掛かる為にご家族の意向を配慮しながら、無料で参加して楽しめる資源活動も選出している。	集団に交わってもなじめる心身状態の方の見極めをし、参加してきた方からお話を聞いて、雰囲気を感じて頂く。	6ヶ月
2	45	入浴日が、入居者の希望に沿っておらず、月曜日、火曜日、金曜日、土曜日と指定をしている。夜の希望や昼の希望に対応が出来ていない。	ご本人の入りたい時間や気分を確認しながら、その日の入浴予定を立てていく。	入居者に要望、意見を聞き取りして、職員が認識するように進めていく。	6ヶ月
3	48	入居前の生活で、外出などが自由に行なっていたのに、時間の制限や行き先を固定している。	行き先などは希望に沿えるようにし、買い物希望にはスーパーに出向き、陳列や旬のものを眺めて触れたりしながら、楽しめるように出かける。	ストレスの発散、五感刺激として職員も一緒に気分転換が出来る環境を考え、外出・外食の機会をもっている。	1ヶ月
4	34	夜間帯に、室内での行動の把握が薄く、転倒事故が起こった。	部屋の確認、動きを把握する。	フロアーの壁を撤去してデスクを置き、記録などを介護室からフロアーで行い、見守りの人員を増やす。必要な部屋には、センサー設置を増やして、動きを察知してすぐに訪室して対応する。	1ヶ月
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。